

令和6 年度 保育所の自己評価

社会福祉法人水の会

北六浦いちい 保育園

園長 佐藤 良恵

R7.3.14

評価項目と視点		保育士の評価
1	第1章総則 教育・保育の基本 ・ 子どもの最善の利益の考慮 ・ 保育の環境（人・物・場）の構成 ・ 子どもの理解、関わり	86%
2	第2章 保育の内容 ・ 保育のねらい及び内容 ・ 育ちの見通しに基づく保育	92%
3	第3章 健康及び安全 ・ 健康及び安全の管理 ・ 健康の保持及び増進に係る取り組み ・ 疾病・事故などの発生予防や体制構築	88%
4	第4章 子育て支援 ・ 入所する子どもの家庭との連携と子育て支援 ・ 地域の保護者等に対する子育て支援 ・ 地域における連携・交流	87%
5	第5章 職員の資質向上（求める保育士像） ・ 子どもの心を感じ ・ 感性を豊かにし ・ 創造力（想像力）を広げ ・ 子どもと共に生活を作っていく	85%

総評

ここ数年、子どもの主体性を大切にした保育のあり方について園内研究を積み重ねてきた成果として「保育の内容」についての評価が高くなったと感じています。今年度は建替えから新しい園舎への移動もあり、一つ一つ職員全体で考え確認しながら取り組んできたことは、様々な面での意識向上につながり、その結果として評価が高くなったものもあれば課題点が見えて低くなったものもあると考えます。特に保育士等による自己評価では、職員間の連携についての話題が多く上がり、どうすれば職員全体が常に情報を共有し、子ども一人一人に対してその時々にあったかわりが出来るのか、せっかくの良い提案も統一出来なかったりすることに課題があると考えます。

来年度は0歳から2歳までの園児受入れ数が増えますし、新しい園舎では今後も新たな取り組みや申し合わせも増えます。引き続き用法共有に力を入れて取り組んでいきます。

*総評には保育士の評価の他、運営管理、社会的責任（個人情報保護、説明責任、苦情処理、人材育成、職員研修等）など施設長の責務を含み記載